

# ひだまり

HIDAMARI 薬局

春号  
2024  
vol.211

13 おくすり相談



命を繋ぐ、災害支援の最前線で  
一薬剤師にできること

薬剤部 薬剤師

## 目次

### 02-03 特集

「災害と医療 DX」

### 04 Hospital Now!!

「動画でわかる！ 入院案内」

### 05 看護師は見た！

「腎臓を守るために」

レシピ de 元気！「春野菜のスペイン風オムレツ」

### 06 外来診療日一覧表（4月1日現在）

### 07 病院からのお知らせ

「焼津市立総合病院 経営強化プランの策定」

「施設の拡充・整備について」

### 08 ひだまりNEWS

より良い医療の提供を行うとともに、市民の健康増進に貢献することで、市民の信頼に応えます

# 特集

Topix

## 「災害と医療 DX」

薬剤部長 林 豊

### ◇災害支援活動への参加

年始の能登半島地震で被害に遭われた皆様に、お悔やみとお見舞いを心より申し上げます。

今回被災地支援として静岡県薬剤師会は、薬局の機能を備えた車両（モバイルファーマシー）と薬剤師を1月中旬から下旬にかけて派遣しました。私は最終班の一員として1月22日から5日間参加しましたので、まずはその体験についてお話しします。（焼津市立総合病院では災害派遣医療チーム（DMAT）を2回派遣しましたが、これとは別の災害派遣事業です）



被災地に派遣された静岡県のモバイルファーマシー

### ◇「移動薬局」モバイルファーマシー

このモバイルファーマシーはキャンピングカー等を改造し調剤機能を備えた車両であり、被災地での医療用医薬品の供給を円滑に行うための災害対策医薬品供給車両として活用されます。さらに特徴的なのは、この「移動薬局」は通常の院外処方せんを受け付けられず、「災害処方せん」という特殊な処方せんのみに対応するという点です。

災害処方せんとは、災害救助法に基づき、救護所や避難所など医療機関以外の場所で、DMAT や日本赤十字社の救護班等から交付される処方せんです。主に発災後の常用薬切れの対応や、症状に対する頓服薬（解熱鎮痛薬、鎮咳薬など）を処方する際に用いられます。

### ◇現地での活動の様子

派遣地は甚大な被害を受けた輪島市で、避難所となっていた「ふれあい健康センター」の敷地内に駐車し活動しました。発災後3週間が経過していましたが、住宅や道路が倒壊したままで街中手つかずの状態にあり、上下水道も機能せず日常生活に大きな支障をきたしている状況でした。

モバイルファーマシーでの活動は、DMAT や救護班から送付された災害処方せんを受け付け、医薬品を調剤し、患者さまや配送担当者へお渡しする、というのが基本的な業務でした。その際、在庫のない薬や錠数が足りない場合は、医薬品卸会社へ発注します。平時と異なり、卸会社にも在庫がなく、入荷日が3日後など時間を要する場合もあり、薬の変更内容やお渡し時期についての調整に手間取ることもありました。



モバイルファーマシーの内部（ここで薬剤師3名が車中泊）

### ◇保健医療福祉調整本部での任務

輪島市役所内に設置された保健医療福祉調整本部は、DMAT や日本赤十字社の救護班など様々な支援救護団体の調整等を行う部署ですが、ここで災害処方せんの起票に関する業務も担当しました。

具体的には、救護班が被災者からの聞き取りにより作成する「常用薬確認表」を受け取り、災害処方せんで対応するか、通常の処方せん（＝通常の保険診療での対応）にするか、その振り分け業務を担当しました。

## ◇医療DXと電子処方せんについて

さて、皆さんは「医療DX」という言葉をご存知でしょうか。DXはDigital Transformationの略で、これは医療分野におけるデジタル技術の導入や医療情報の有効活用の推進によって、医療サービスの効率化や質の向上を目指すものです。政府は医療DXを推し進めており、その一環としてマイナンバーカードを活用した保険証や電子処方せんなどの制度が展開されています。

電子処方せんとは、その名の通り処方せんを電子化したものです。患者さまにとっての大きなメリットは、「オンライン診療」の実現ではないでしょうか。オンライン診療後に、薬剤師からオンラインで服薬指導を受け、医薬品が配送されることで、自宅にいながら診療が完了します。これは新型コロナウイルス以前には成し得なかった医療の「形」です。

現状では、オンライン診療は全国的に十分普及しておらず、電子処方せんの導入によるメリットを感じられないかもしれません。しかし、体の不自由な高齢者などの診療ニーズが存在する限り、今後オンライン診療は普及する可能性があります。制度やシステムの整備が進む中、病院やクリニックに直接赴くことなく「オンライン」で診療が完結する時代がもう間近に迫っています。(焼津市立総合病院では電子処方せんの導入に向けて現在準備中です)

## ◇処方データが蓄積されるということ

電子処方せんでは、処方情報は国が運営する管理システムに集積されます。これにより、他の医療機関で処方された薬が重複しているなどのチェックもかけられ重複投与を回避できるメリットもあります。

一方でこれら医療ビッグデータを用いて薬の有効性や安全性を評価することも可能となります。新型コロナウイルスの治療薬やワクチンでは迅速に国内承認されましたが、当時日本人のデータはなく臨床効果は確認できずにいました。海外諸国でも同様の状況でしたが、医療のデジタル化が進んだ国ではビッグデータを用いた報告がいくつもあり、発売後の薬の効果や安全性に新たな知見を与えることができました。これは



社会全体への貢献度が高い要素となりますが、最終的には私たち国民にとって大変有益な情報となります。

## ◇災害医療から垣間見た医療DX

輪島市の避難所で、飲んでいた薬がなくなったが薬の名前を思い出せず、またお薬手帳もない、という被災者が少なからずいたと聞きました。もしマイナンバーカードがあれば処方情報をオンラインで参照し、災害処方せんでお薬を渡すことも可能になります。

また、スマホやクラウド（インターネットを経由したサービス）上に個人の医療情報（PHR:パーソナル・ヘルス・レコード）があり、救護班の診察時などに参照できれば診療がスムーズになります。平時だけでなく災害時にも医療DXの恩恵をきっと受けられるはずです。

災害支援活動中も常用薬の情報や災害処方せんの内容について、多くはスマホでやり取りしました。また保健医療福祉調整本部関連の情報はGoogle Driveで共有され、各団体が作成したファイルを参照することができました。私もモバイルファーマシーの医薬品在庫リストや、営業中の調剤薬局リストなど作成し共有しました。情報のデジタル化がチーム内での迅速な情報共有をもたらし、その結果、支援活動をより迅速に実行できることを体感しました。

## ◇高齢化社会の医療を支えるために

能登半島の高齢化率は50%に達しているとも言われ、医療や介護の需要は高いものの、それを支える人手が不足しているのが現状です。まるで将来の日本の姿を先取りしているかのようです。今回の災害派遣を通じて、限られた人員であっても、様々な技術革新を取り入れながら、質の高い医療サービスを持続させることの重要性を実感しました。



静岡県薬剤師会から山梨県薬剤師会への引継ぎ（最終日）

# HOSPITAL NOW!!

## 「動画でわかる！ 入院案内」

患者支援室副室長 内藤 里美

当院は令和6年1月22日から、スマホアプリ LINE を用いた入院案内「ポケさぼ」の利用を開始しました。入院案内時に、案内方法のご希望を伺います。

### 「入院案内」を LINE や動画で受けることを希望された場合

- ① ご自分のスマホで当院とお友達登録していただきます
- ② 入院案内についてポイントを絞って説明します
- ③ 入院案内に関する動画を待ち時間やご自宅で視聴
- ④ 入院日までのスケジュールにあわせてメッセージ表示されます  
スマホで確認し、必要時にはLINEで質問できます
- ⑤ 入院後7日経過で、案内終了となります



LINEでお友達登録すると「やいちゃん」のアイコンが表示されます。

### 「入院案内」を対面で受けることを希望された場合

- ① 職員による入院案内を冊子に沿って詳しく説明する
- ② 冊子を確認し、入院準備を行う



### お好きな「入院案内」の方法をお選びください

#### LINEや動画で受ける

- ・大切な内容は対面でご説明します
  - ・説明や待ち時間が短くなります
  - ・ご不明な点は自宅から質問ができます
  - ・QRコード登録で簡単にご利用頂けます
- ※アカウント名は病院には共有されません

病院で説明



スマホで確認  
LINEで質問



#### 対面で受ける

- ・全ての内容を対面でご説明します
  - ・説明時間や待ち時間を頂きます
- 時間は前後しますので予めご了承下さい

病院で詳しく説明



### 【ポケさぼ ご利用のメリット】

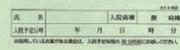
1. 病院内で説明を受ける時間が短縮できる
2. 説明動画は繰り返し視聴することができる
3. わからない事を LINE で質問できる

(急ぎの場合は、今までどおり電話連絡をお願いします。)

### 入院のご案内



焼津市立総合病院  
日本医療能率評価認定病院  
静岡県立総合医療センター 焼津地区センター  
〒417-8501 焼津市立総合病院 患者支援室



こちらが入院案内の説明冊子です。動画では20分程度の視聴になります。

## 「ポケさぼ」登録に関する Q & A

**Q 1**：スマートフォンを持っていないのですが

**A 1**：対面で説明をさせていただきます。また、ご本人でなくても、ご家族が登録する事も出来ますので、ご家族のスマートフォンで確認していただくことが可能です。

**Q 2**：登録時に料金がかかりますか？

**A 2**：登録は無料です。通信料につきましては、ご利用者様にご負担いただきます。当院では院内 Free Wi-Fi がご利用いただけます。

**Q 3**：入院のたびに登録する必要がありますか？

**A 3**：ご登録いただいた“入院日”に併せてメッセージが送信されますので、入院のたびにご登録いただく必要があります。

**Q 4**：入院日が変更になりました。どうすれば良いですか？

**A 4**：入院日の変更につきましては、病院内で連絡調整する運用となっておりますが、LINE のチャットでお知らせいただきますと助かります。

《お問い合わせ先》 焼津市立総合病院 患者支援室

看護師は見たっ!!



## 腎臓を守るために

「血液浄化療法室」をご存じですか？  
みなさんからは透析室と呼ばれる事が多いです。

血液浄化療法室は腎臓内科、泌尿器科、総合診療内科の医師、看護師、臨床工学技士、管理栄養士など多くの職種のスタッフが協力して治療を行っています。主に慢性腎不全の患者様の血液透析を行っていますが、その他に特殊治療や腹膜透析の診察を行っています。高齢化や生活習慣病の増加を背景に透析患者様が年々増加しており、当院では透析患者様の増加に対応するため、4A病棟だったフロアを改修し、第2血液浄化療法室をオープンしました。

現在、成人の8人に1人は慢性腎臓病と言われています。糖尿病や加齢、様々な腎臓の病気の影響で腎臓の働きは低下し、長い時間をかけて自覚症状がないまま悪化してしまいます。身体のおくみが続く、怠い、食欲がないなどの症状がでてきて病院を受診した時には、慢性腎臓病が進んでしまっていることもあります。一度悪くなった腎

血液浄化療法室看護師 井出歩美

臓の機能は戻りません。症状がないから大丈夫なのではなく、なるべく早く腎臓の悪化に気づき、生活習慣を見直す事がとても大切です。

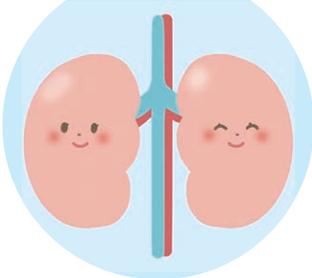
腎臓を守る一番の方法は「減塩」です。減塩する事で高血圧を防ぎ、腎臓の働きを守ることができます。すぐに実践できる減塩の方法を二つお伝えします。

まず「減塩しょうゆ」や「減塩みそ」の使用です。通常のものより食塩を50%程度減らすことができますと言われています。

二つ目は調味料を「かける」より「つける」にする事です。醤油・ソースなどを直接食べ物にかけると、必要以上に塩分を摂取してしまい、腎臓への負担となります。

減塩を実践していただく事、健康診断で要注意・要観察などといわれたら早めに受診し、定期的な診察を続けていく事が大切です。ぜひ、実践をしていただき、お体を大切にしてください。透析が必要とされる場合は、安心して治療ができるように努めてまいります。

腎臓を大切に！



レシピ de 元気!

## 「春野菜のスペイン風オムレツ」



(栄養価 1人分)  
熱量 130kcal、蛋白質 9.3g、脂質 9.5g、塩分 0.7g

問合先 栄養科 054-623-3111(代)

材料 4人分	アスパラ	3本	粉チーズ	大さじ1強
	赤パプリカ	1/4個	塩	ひとつまみ
	新玉ねぎ	1/4個	コショウ	少々
	ベーコン	40g	オリーブオイル	適量
	卵	4個		

- 1 アスパラはすじをとり2～3cmの斜め切り、パプリカは1cm角、玉ねぎは薄切り、ベーコンは1cm幅に切る。
- 2 フライパンにオリーブオイルをしき、ベーコンと玉ねぎを炒める。玉ねぎがしんなりしたら、アスパラとパプリカ、塩とコショウを加えて軽く炒める。
- 3 よく溶いた卵の中に、炒めた具材と粉チーズを合わせる。
- 4 小さめのフライパンにオリーブオイルを熱し、③を流し入れる。弱火で蓋をして焼き、片面が焼けたらひっくり返して反対の面も軽く焼き目をつける。
- 5 4等分に切り分け、皿に盛る。

★お好みの野菜を使って、アレンジしてみてください。

# 外来診療日一覽表

2024年4月1日現在

診療科	午 前				
	月	火	水	木	金
総合診療内科 (紹介状必要・予約制)	○	○	○	○	○
腎臓内科 (紹介状必要・予約制)	○	○	○	○	○
呼吸器内科 (紹介状必要・予約制)	○	○			○
血液内科 (紹介状必要・予約制)	○	○	○	○	○
消化器内科 (紹介状必要・予約制)	○	○	○	○	○
循環器内科 (院内他科依頼)		○	○	○	○
代謝内分泌内科 (紹介状必要・予約制)	○		○	○	○
脳神経内科 (紹介状必要・予約制)	○	○	○	○	○
精神科 (新患受入休止)	○	○	○	○	○
小児科	○	○	○	○	○
外科	○	○	○	○	○
整形外科 (予約推奨)	○	○	○	○	○
形成外科 (紹介状必要・予約制)	○		○		○
脳神経外科	○	○	○	○	○
皮膚科	○	○	○	○	○
泌尿器科	○	○	○		○
透 析	○	○	○	○	○
産婦人科 (予約制)	○	○	○	○	○
眼 科	○	○		○	○
耳鼻咽喉科 (紹介状必要・予約制)	○	○	○	○	○
放射線科 (予約制)			○		○
歯科口腔外科	○		○		○

- ◆受付時間
  - ・午前 8時00分～11時00分 (再来受診) 8時00分～11時30分
  - ・午後 12時30分～15時00分
- ◆予約受付
  - 054-623-3111(代表) ※受診科をお知らせください。
  - ※午後の診察はすべて予約制です。ご注意ください。
- ◆外来担当医表
 

外来担当医表については、毎月1日付でホームページを更新していますのでご覧ください。また、病院受付窓口でも毎月1日から配布しています。なお、都合により担当医や担当日が変更になることがあります。
- ◆各種相談 (予約制)
  - ・緩和ケア・がんよろず相談 月～金曜日(休診日を除く)9時00分～16時00分  
予約受付 054-623-3111(代表) 内線: 3031 地域医療連携室がんよろず相談担当
  - ・退院後の療養、介護に関する相談 月～金曜日(休診日を除く)9時00分～16時00分  
予約受付 054-623-3111(代表) 内線: 2090 患者支援室医療相談担当

○…診療日 検…検査

診療科	午 後 (予約制)				
	月	火	水	木	金
総合診療内科 (再診のみ)	○	○		○	○
呼吸器内科 (紹介状必要)	○	○			○
血液内科 (紹介状必要)		○		○	○
消化器内科 (紹介状必要)		○	○		○
循環器内科 (院内他科依頼)	○	○	○	○	○
代謝内分泌内科 (紹介状必要)	○	○		○	
脳神経内科 (紹介状必要)	○	○	○	○	○
精神科 (新患受入休止)	○	○		○	○
小児科	○	○	○	○	○
形成外科 (紹介状必要)	○				
皮膚科	○	○	○	○	○
透 析	○	○	○	○	○
耳鼻咽喉科 (紹介状必要)	○		○	○	
歯科口腔外科	○		○		○

特殊外来 完全予約制 △午前 □午後 一部毎週開催していない外来もあります。詳しくはお問い合わせください。

特殊外来(完全予約制)	月	火	水	木	金	
腎臓内科	膠原病・リウマチ (紹介状必要)			□		
	多発性のう胞腎 (紹介状必要)			□		
	糖尿病性腎症パス(紹介状必要)	△□		△□		
代謝内分泌内科	フットケア外来 (再診予約制)		△		□	
脳神経内科	認知症外来 (紹介状必要)			△		
小児科	心臓			□		
	エコー				□	
	神経				□	
	すこやか療育支援			□		
	川崎病				□	
	乳児検診	4ヶ月児 10ヶ月児	1ヶ月児			
	シナジス	□				
外 科	スキンケア			△□		
	乳 腺	△□			△□	
	血管外科				第1,2,4 △	
	呼吸器外科			△□		
	心臓外科				第2,4 □	
大腸・肛門				△□		
整形外科	スポーツ整形	□				
形成外科	レーザー	□		□		
脳神経外科	脳卒中		□			
泌尿器科	移植外来	△	△	△		
産婦人科	不妊治療	△	△	△	△	
	助産師	△□	△□	△□	△□	
	妊婦外来	□		□	□	
眼 科	網膜・緑内障		△			



## 焼津市立総合病院 経営強化プランの策定

### ～策定の背景と目的～

国が令和4年3月に示した『持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン』では、個々の公立病院の経営が持続可能となり、明確化・最適化した役割・機能を発揮し続けることができるよう、「経営強化」の取り組みを進めていくことが必要とされています。

当院では、市民の皆様から信頼され将来にわたって持続可能な自治体病院であり続けるために、地域における果たすべき役割・機能を明確化・最適化するとともに、新興感染症の感染拡大時の対応や医師等の働き方改革等という視点を含め、新病院建設も見据えた経営基盤の強化に取り組むことを目的とし、令和6年度から令和9年度までの4年間を計画期間とする「焼津市立総合病院経営強化プラン」を策定しました。



### ～果たすべき役割～

当院の理念である「より良い医療の提供を行うとともに、市民の健康増進に貢献することで、市民の信頼に応えます。」のもと、地域における中核的医療を行う基幹病院として急性期機能を集約して救急・災害医療など、市民の安心・安全を守る基本的な医療需要に応えるとともに、医師・看護師等の確保を図り、回復期及び慢性期機能を担う病院や在宅医療を担う診療所等との連携を強化していきます。

焼津市立総合病院ホームページ 経営強化プラン

[https://www.hospital.yaizu.shizuoka.jp/topics/kiji/yh\\_kaikaku/index.html](https://www.hospital.yaizu.shizuoka.jp/topics/kiji/yh_kaikaku/index.html)

## 施設の拡充・整備について

### 1. 第2血液浄化療法室の整備

増加している透析患者の受入れのため、A棟4階に新たに「第2血液浄化療法室」を整備し、透析ベッド11床を増設しました。既存の血液浄化療法室（35ベッド）を「第1血液浄化療法室」とし、透析ベッドを計46床まで拡充しています。



### 2. 化学療法室及び点滴治療室の整備

- (1) 薬物療法などの外来化学療法の需要増に対応するため、既存の2階外来の点滴・治療センターを「化学療法室」とし、17ベッドを設置しています。
- (2) 内視鏡治療後の鎮静や化学療法以外の点滴治療等を行うため、A棟4階に新たに「点滴治療室」を整備し、10ベッドを設置しました。

引き続き、当院では、地域ニーズに合った医療サービスを提供していく取り組みを行ってまいります。

## 能登半島でDMATが災害支援活動

2024年1月1日に発生した能登半島地震災害支援の要請を受け、当院DMAT（災害派遣医療チーム）が、1月6日～8日と、2月7日～11日の2回支援活動を行いました。

1月の支援では、発災直後、輪島市の高齢者施設に向かいました。道路状況は落石などがあり悪い状態でしたが、無事に施設にたどり着きました。施設は倒壊の恐れがあり、全員を安全な施設に移す任務に従事しました。帰路は、雪道で危険な状況ではありましたが、無事に焼津に戻ることができました。

2月の支援では、金沢市内にある1.5次避難施設の医療活動を行う任務でした。この避難所は、介護を必要とする避難者が約90名と多くおられ、薬剤師、介護士、栄養士、リハビリなど他に10種類以上のチームが活動していました。これらチームと協力して、避難者に少しでも良い環境で過ごしていただけるように活動を心がけました。同時に、今後DMATが撤退した後もこの施設で適切な医療環境が維持できるような仕組みをつくる任務もあり、つぎに繋ぐ責任の重さを実感しました。

私たちの活動は短く微力なものだと思いますが、この様な力を効率よく結集することで、1日でも早く能登地方の方々の平穏な日常が戻りますよう祈念しております。

統括 DMAT 医師 富田 守



### 2/15 はごろもフーズ株式会社様より 寄付金を受領しました



はごろもフーズ株式会社様より、15年連続となる寄付金100万円を受領しました。これからも職員一丸となり、地域医療に貢献してまいります。ありがとうございました。

### 会計年度任用職員募集

焼津市立総合病院では、「会計年度任用職員」を随時募集しています。資格・経験を問わず募集している職種もありますので、詳しくはホームページをご覧ください。病院総務課給与厚生担当までご連絡ください。

一緒に働きませんか？



電話 (054)623-3111 (代表)  
病院総務課 給与厚生担当



◀ホームページはこちら